

小児外科

松下 航平先生 離任のごあいさつ



三重病院に着任して2年3ヶ月が経ちましたが、この7月に三重大学附属病院へ異動となります。長いようで、あっという間の期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。

三重病院に来た時は、まだ小児外科医として働き出して間もない状態で、患者様や先生方、スタッフの方々に、いろいろご迷惑をおかけしたかと思えます。そんな中、多くの患者様と出会い、入院治療や手術で元気になっていく子供たちを見て、本当にやりがいを持って働くことができました。

長期間入院で頑張っていたお子さんから、退院時に手紙をもらったり、病院外などで偶然お会いした時に患者様やご家族の方からご挨拶して頂いたり、とても嬉しかったです。

また、小児外科の先生を始め、多くの先生方に、御指導頂き、本当にありがとうございました。いろいろな知識や、経験を教えて頂き、とても勉強させて頂きました。病院のスタッフの方も大変親切で、優しく、すごく働きやすい環境でした。本当に感謝しております。

新たな職場に行っても、この病院で得た経験を基に、また頑張りたいと思います。ありがとうございました。



医療安全管理室からのお知らせ

15

“1病棟の取り組み”

1病棟は0歳児から高齢者までを対象とする整形外科・リハビリテーション病棟です。

リハビリ目的の患者様は、装具や歩行補助具を使用されていることが多く、高齢の方の場合はさらに筋力低下や感覚機能の衰えにより、転倒や転落の危険性があります。

「以前はここまでではできていた。」「これくらいなら動けるはずだ。」というように、長年身についた感覚の変化はすぐには受け入れられません。

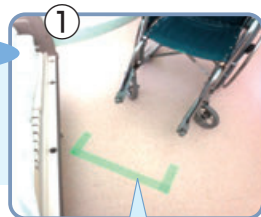
そこで、転倒転落を防ぐために、動ける範囲、動かせる範囲をわかりやすく表示する取り組みを行っています。

《患者様の視覚に訴える》

- ① 車椅子とベッド間の移動時に、目測や慣れ、思い込みで転倒してしまわないよう車椅子の位置に目印のテープを貼る。
- ② トイレと便器への移動時に注意してもらえよう、警鐘ポスターを掲示する。

《患者様の視覚に訴える》

- ① 病室での車椅子設置テープ
- ② トイレに転倒防止ポスター



車椅子を止める位置をテープで表示

《看護師の意識を高める》

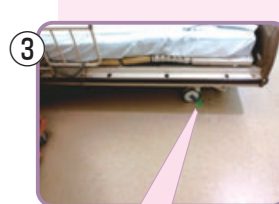
- ③ 看護師がベッドを移動した後、もとの場所に戻せるようベッドの位置に目印のテープを貼る。
- ④ 転倒の危険が高いと思われる患者様には、ナースコール表示板の患者様ネームにテントウムシシールを貼り、すぐに対応できるようにする

このような取り組みを行う中で、「このテープが貼ってあるでさ、ここに合わせるようにしとる。今まではベッドから遠かったでなあ。これで気をつけれるわ。」という声も聞かれ、転倒・転落を減らすことにつながっています。

今後も、安全に入院生活が送れるための取り組みを続けていきたいと思っています。

《看護師側の意識を高める》

- ③ 病室でのベッド設置テープ
- ④ ナースコール表示板にテントウムシシール



看護師がベッド移動した時も位置がわかるようにテープで表示

(医療安全推進担当者 副看護師長 後藤 弘美)